

# 米軍オスプレイ不具合

## 国内でも疑い1件

防衛省

防衛省は31日、日本共産党の国策・地方議員による聞き取りで、米軍の無人離着陸機オスプレイをめぐり、同機特有の不具合である「ハード・クラッチ・エンゲージメント(HCE)」の疑いのある事例が日本国内で1件発生したことを認めました。時期や場所、所属部隊などについて

は「事実関係を確認中だ」と述べました。日本共産党の高木徹衆院議員は、昨年11月衆院議員は、昨年11月の参院外交防衛委員会での山添拓議員の質問に対し、防衛省の深沢雅貴地方協力局長(当時)は「オスプレイについて、米側からクラッチを原因とする特有の現象は日本国内では発生していません」と

確認している」と答弁していましたと指摘。「政府が国民にウソを説明していく可能性もあり、極めて重大だ」と批判しました。

米海兵隊は7月、昨年6月に米カリфорニア州で起きたMV-22オスプレイ墜落事故の報告書を公表。事故原因是HCEと結論付けました。→関連6面